デイリーレポート

船長署名 フ. Brane

船名	大 島 丸		情報発信日時		2	2025	年	11	月	19	日	12	時	00	分
現 在 位 置	航海中	12	時	00 分	,	概位	光 位		奄美大島ス			比西方	ī		
		<lat.< td=""><td>29</td><td>- 1</td><td>2.9 N</td><td>۱/ S</td><td colspan="2">Long.</td><td>12</td><td colspan="2">128 -</td><td colspan="2">54.9</td><td colspan="2">E/₩></td></lat.<>	29	- 1	2.9 N	۱ / S	Long.		12	128 -		54.9		E /₩ >	
	停泊中		時	分	7	概位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>١</td><td colspan="2">N/S</td><td colspan="2">Long.</td><td colspan="2">-</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">E / ₩ ></td></lat.<>		-	١	N /S		Long.		-				E / ₩ >	
	錨泊中		時	分	概位										
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>Ŋ</td><td colspan="2">N/S</td><td colspan="2">Long.</td><td colspan="3">-</td><td></td><td>E/</td><td>₩ ></td></lat.<>		-	Ŋ	N /S		Long.		-				E/	₩ >
	操業中		時	分	7	概位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>١</td><td>√/ S</td><td colspan="2">Long.</td><td></td><td colspan="2">-</td><td></td><td></td><td>E/</td><td>₩ ></td></lat.<>		-	١	√ / S	Long.			-				E/	₩ >
	観測中		時	分	7	慨位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td>N</td><td>√/ S</td><td>Lo</td><td>ng.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>E/</td><td>₩ ></td></lat.<>		-	N	√ / S	Lo	ng.			-			E/	₩ >
本船状況気象海象	針路:	205	度	船速:	9.0	ŀ	κt	天候	:	()				
	風向:	NNW		風速:	11.0	m	/s	視界	:	Ī	7	ž	፟		
	波高:	3.0	m	風浪階級	∤: 4		うねり		り階	級:	3				
乗船者 状況	乗組員	現在員:		19	名	健康	健康状態:			良好		不良		-	
		摘要:													
	生徒	現在員:		12	名	健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:													
	指導教官	現在員:		3	名	健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:													
	アト・ハ・イサ・- スタッフ	現在員:		1	名	健康	状態	:		良好			不良		
		摘要:													
○★魞動	圭 名														

○本船動静

・11月18日16時00分長崎港出港

【学校側コメント】

昨日の操練に関することですが、船には「常に備えよ」という教えがあります。海という自然を相手 にする時、緊急事態に備えて使用する器具・器材は即座に使えるように日頃から整備しておく、これを使 用する人員も使用方法に慣れておく事が重要です。実習生には船内生活の中で常に整理・整頓を心掛ける ように言っています。一人前のシーマンになるためにも基本の心得を大切にして欲しいです。

長崎港を出港する時に近くに錨泊していた熊本県の実習船熊本丸が「UW旗」を掲げてくれました。本 船も「UW・1旗」で答礼しました。互いに航海の安全を願う実習船同士のエール交換です。帆船日本丸 に続く心温まる嬉しい光景になりました。